



おおや



学校教育目標「心豊かでたくましい子の育成」

7月号 R6.6.28

発行責任者
校長 田崎 守

上尾市立大谷小学校 上尾市大字大谷本郷 528 電話 048(781)0120

交通事故にご注意

本校の校庭と職員室間にある通路には、1年生が植えたアサガオの花と3年生が植えたホウセンカの花が咲き、色とりどりの花を楽しむことができます。また、中庭や校庭の周りでは児童が様々な生き物を観察している光景があり、夏本番が近づいている気配を感じています。

本校では、6月12日にプール開きを行い、自校のプールで水泳指導を行っているところですが、27日には上尾南高校の水泳部の生徒が12人来校し、6年生の水泳授業で泳力を向上させるサポートをしてくださいました。今回、小・高連携の一環の活動として初めて取り組みましたが、児童生徒が笑顔でコミュニケーションをとる姿が見られ、とても微笑ましい光景でした。

さて、先日ニュースの中で、身体の発育途上である子供たちは、視界は大人の60%しか見えていないこと、車が接近しているか否かを判断するために、2秒以上の時間を必要とするという記事を読みました。日常の風景を大人の視点から見慣れている私達にとって、改めて子供たちの立場に立ち、安全指導をしていかなければならないと感じるものでした。

視野角の比較

| | 子供（6歳） | 大人 |
|----|--------|------|
| 垂直 | 70° | 120° |
| 水平 | 90° | 150° |

本校の学区に着目すると、形状は縦に長く、一番遠い地域から通学する児童は、2kmを超える道のりを歩いてきていることとなります。私も本校

に勤務する前、用務で大谷小学校に訪問した際には、学校付近の道路での自動車とのすれ違い時には緊張しながら、細心の注意を払って運転したのを今でも覚えています。学区の特徴として、住宅街を通り道幅が狭いこと、カーブがあって見通しが悪い箇所が多いこと、上尾道路や国道51号などの大きな道路も通っていて交通量が多いことなどから、本校は交通事故に十分気を付けなければならない地域です。

そのような中、本校においては、この数年間に児童の交通事故が発生していないことは、とてもうれしいことです。皆様のご協力に、感謝の気持ちでいっぱいです。特に、PTA活動等において自主的な旗振りや、見守りをしていただいていること、地域の見守りボランティア、防犯隊の皆様が危険箇所を立て児童に声掛け、巡回パトロールをしていただいていることは、大きな要因だと感じております。



学校もあと14日で1学期の終業となり、37日間の夏休みに入ります。

子供たちが、交通安全に気を付けて過ごすことができるように学校でも引き続きの安全指導を繰り返していきたいと考えております。家庭・地域におかれましても引き続きのご支援をお願い致します。